

## NHK大河ドラマに「船津伝次平」登場！

上毛カルタでお馴染みの「ろ」は老農船津伝次平（ろうのうふなつでんじべい）です。群馬県内の小学校を出た者は誰でも知っているお決まりの人です。

その船津伝次平がNHK大河ドラマ「花燃ゆ」に登場しました。この方は日本の農業発展に大変尽力をした方ですが、意外と何をしたか内容を知られていないので紹介します。前橋市の農家に生まれ名主として赤城山の植林事業に従事し、前橋藩から35カ村の大総代を命じられたあと、蚕業の振興につとめ、『桑苗簾伏方法』『太陽暦耕作一覽』を著し、農家に広く無料で配布した。群馬県令・揖取素彦から農事に精通する者として推挙され、大久保利通に請われ明治10年12月上京、駒場農学校（東大農学部）に勤務し、農場監督として生徒に農業を指導した人です。船津伝次平の著書には『稲作小言』など多くの著書があるそうです。現在、東京の飛鳥山公園には船津伝次平を顕彰する碑もあります。没後、地元富士見村（現前橋市）で伝次平の功德をたたえ、船津顕彰会がつくられ昭和35年から群馬県内で農業に貢献した人1名に農業振興船津賞を今も贈っています。

その船津賞が今年で56回目（56人目）となりますが、何と明和町千津井の峯崎正春様を受賞いたしました。峯崎様は平成7年からシクラメンの栄養診断技術を導入し、きめ細かい肥培管理などによる生産技術を確立し、



峯崎夫妻

全国的な品評会で数々の賞を受賞いたしました。その技術を決して独り占めせず多くに広め、県内の70パーセントの生産者がこの技術を導入しております。そして

新規参入者を育て、峯崎様が育てた新規参入者が就農1年目の県品評会で金賞受賞するなど、積極的に後継者育成を支援している事が認められました。また、平成19年から群馬県アジサイ研究会の会長として、鉢物アジサイオリジナル品種「フェアリーアイ」の全国初の共選共販に取り組み、群馬県の生産額は全国2位までになりました。



農業委員会主催の祝賀会

今回の受賞は、明和町にとっても大変名誉あることでもあります。これまでの峯崎さんの業績と熱意、行動力に敬意を表し、ご健勝及びご多幸をお祈り申し上げるとともに、更なる益々のご活躍をご期待申し上げます。

平成27年11月19日

明和町長 富塚もとすけ